

# 更尽会 第7回総会

(2008年度)

と き 平成20年7月12日(土)

ところ 茨城大学工学部都市システム工学科

## <プログラム>

- |             |            |
|-------------|------------|
| 13:00~      | 受付         |
| 13:30~13:55 | 第7回総会      |
| 14:00~15:45 | 懇親会(工学部生協) |
1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 客員会員紹介
  4. 客員代表挨拶
  5. 乾杯  
— 歓談 —
  6. 中締め

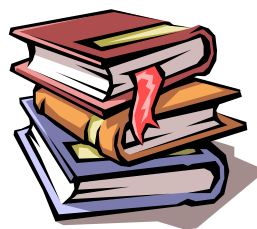
## 更尽会（こうじんかい）について

「更尽会」は茨城大学工学部建設工学科・都市システム工学科の卒業生および教職員を中心とする同窓会であり、平成13年5月12日に行われました学科設立20周年記念式典において発足しました。

本会の名称「更尽会」は、茨城大学元学長であり、本学科の設立にご尽力くださった黒木剛司郎先生に命名していただきました。

「更尽」とは、有名な漢詩「君に勧む 更に尽くせ 一杯の酒 西のかた 陽関を出ずれば 故人無からん」から二文字をとったもので、この漢詩は遠く辺境の地に赴任する親友を送るにあたって王維という唐の詩人が読んだものです。

黒木先生の同窓会名称の命名に関しては、「本学科で共に学んだものの友情を温め、これからも親睦を図って欲しい」との願いが込められております。



---

# 更 尽 会 第 7 回 総 会

---

日時 平成 20 年 7 月 12 日（土） 13 時 30 分～13 時 55 分

場所 茨城大学 工学部 都市システム工学科

## 議 事 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
  - 1) 2007 年度活動報告について [第 1 号議案]
  - 2) 2007 年度決算報告について [第 2 号議案]
  - 3) 第 4 期新幹事について [第 3 号議案]
  - 4) 2008 年度活動計画について [第 4 号議案]
  - 5) 2008 年度予算について [第 5 号議案]
  - 6) 2008 年度会計監査役について [第 6 号議案]
  - 7) その他
5. 閉会

## 更尽会 2007 年度活動報告

### 1. 第6回総会について

更尽会第6回総会を、平成19年6月16日（土）、茨城大学工学部都市システム工学科において開催し、2006年度の活動報告および決算、2007年度の活動計画および予算、更尽会会則の改正（会費納付に関すること）などについて決議した。

また、在学生への更尽会の周知および在学生との交流を図るため、前年度と同様に会員および在学生との懇親会を実施した（出席者68名）。



### 2. 幹事会について

第14回幹事会を次のとおり開催し、総会の議事内容及び本会の運営等について審議した。

- 開催日時：平成19年5月20日（日）14:00～16:00
- 開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室
- 議事内容：第6回総会の議事内容、2007年度年会費の納入案内等について、更尽会会則の改正について 他

さらに、第15回幹事会を次のとおり開催し、学科への支援活動（在学生の学術活動に対する報奨制度）等について審議した。

- 開催日時：平成19年12月16日（日）14:00～15:35
- 開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室
- 議事内容：第6回総会（懇親会）の決算報告、ニュースレター2007の作成と発送について、学科への支援活動（在学生への報奨制度）について 他

### 3. ニュースレター2007の発行について

平成19年9月28日にニュースレター2007を発行した。ニュースレター2007には、第6回総会の議決事項と各種案内を掲載した。また、会則改正、会費納付案内、会員情報登録票などの各種案内と一緒に756名の会員に対して送付された。

### 4. 年会費の納付状況（2008年3月31日現在）について

更尽会会費の納付案内を平成19年9月に実施した。納付案内では、第6回総会において会則改正（会費納付に関する事）が行われたことを踏まえた内容とした。なお、郵便振替口座・自動払込希望者に対しては平成19年4月20日に自動払込を実施した。各期の会費納付状況は下表のとおり（会則改正によって、「年会費は2,000円とし、各会員は入会后10年間分を納付する」こととなったので、納付済みと納付予定を分けて整理した）。

また、会費未納者に対する働きかけについても、各幹事が個別に対応可能な範囲で、納付率を向上させる取り組みを実施した。

更尽会年会費納入状況（平成20年3月31日現在）

学科	期	卒業年度	納付済み		納付予定		納付率 (%)
			口数	金額(円)	口数	金額(円)	
建設工学科	1	S59	150	300,000	170	340,000	46.9
建設工学科	2	S60	88	176,000	202	404,000	30.3
建設工学科	3	S61	52	104,000	308	616,000	14.4
建設工学科	4	S62	100	200,000	330	660,000	23.3
建設工学科	5	S63	136	272,000	244	488,000	35.8
建設工学科	6	H01	198	396,000	205	410,000	49.1
建設工学科	7	H02	142	284,000	288	576,000	33.0
建設工学科	8	H03	117	234,000	333	666,000	26.0
建設工学科	9	H04	64	128,000	326	652,000	16.4
建設工学科	10	H05	99	198,000	321	642,000	23.6
都市システム工学科	1	H06	138	276,000	492	984,000	21.9
都市システム工学科	2	H07	64	128,000	646	1,292,000	9.0
都市システム工学科	3	H08	185	370,000	545	1,090,000	25.3
都市システム工学科	4	H09	139	278,000	571	1,142,000	19.6
都市システム工学科	5	H10	116	232,000	384	768,000	23.2
都市システム工学科	6	H11	61	122,000	659	1,318,000	8.5
都市システム工学科	7	H12	60	120,000	630	1,260,000	8.7
都市システム工学科	8	H13	39	78,000	531	1,062,000	6.8
都市システム工学科	9	H14	17	34,000	663	1,326,000	2.5
都市システム工学科	10	H15	19	38,000	641	1,282,000	2.9
都市システム工学科	11	H16	27	54,000	583	1,166,000	4.4
都市システム工学科	12	H17	23	46,000	707	1,414,000	3.2
都市システム工学科	13	H18	26	52,000	624	1,248,000	4.0
合 計			2,060	4,120,000	10,403	20,806,000	16.5

## 5. 会員情報の再調査について

学科 30 周年に向けた会員情報の充実を目的として、会員情報の再調査を実施した。新しい「会員情報登録票」をニュースレター2007 と同時送付するとともに、更尽会 Web ページからもダウンロードできるように対応した。約 400 名の連絡先不明の会員がいることから、学年幹事を中心に消息の調査を行ったが、回収できた「会員情報登録票」は 5% 程度に止まり、効果は上がらなかった。

## 6. 学科支援活動（その 1）－特別講師の派遣について－

在学生の就職活動等を支援する取り組み（授業「都市システム工学特別講義」の「職場研究」への講師派遣）を以下のとおり実施し、学生からの好評を得た。なお、本取り組みについて講師を引き受けてくれる可能性を会員に調査したところ、「講師の要請を受ける可能性あり」と回答した会員は 11 名おり、そのうち 2 名の会員に講師を依頼することができた。

更尽会から派遣した職場研究の特別講師一覧

実施日	講師名（卒業年度）	所 属
H19/11/13	浦野 祐嗣 氏（平成 15 年度）	株式会社奥村組
H19/11/20	小林 卓也 氏（平成 4 年度）	日本原子力研究開発機構
H19/11/27	満山 聖 氏（平成 13 年度）	東武鉄道株式会社
H19/12/11	町口 敦志 氏（平成 15 年度）	株式会社日本海コンサルタント
H19/12/18	小野 剛士 氏（平成 3 年度） 中沢 聡 氏（平成 3 年度）	太平洋セメント株式会社



7. 学科支援活動（その2）－在学生の学術活動に対する報奨制度について－

第15回幹事会（平成19年12月16日実施）において「学術活動に対する報奨の実施に関する要項」を定め、2007年度（平成19年度）に発表された在学生の研究論文を対象として、更尽会賞（修士論文発表賞および卒業研究発表賞）を贈呈した。以下に、表彰内容と受賞者等を示す。

<2007年度（平成19年度）の表彰内容>

- ・ 修士論文発表賞 [最優秀賞] : 1名
- ・       "       [優 秀 賞] : 3名
- ・ 卒業研究発表賞 [最優秀賞] : 1名
- ・       "       [優 秀 賞] : 3名

[最優秀賞] 賞状，楯（トロフィー），報奨金（商品券）

[優 秀 賞] 賞状，報奨金（商品券）



賞の名称		受賞者氏名 (敬称略)	所属研究室名	指導教員名
修士論文 発表賞	最優秀賞	渡辺 匠	構造・地震工学	呉 智深 教授
	優 秀 賞	内田 佳子	防災・環境地盤工学	小峯秀雄 准教授
		舒 岩	水圏環境	三村信男 教授
		MAOKHAMPHIOU SISOUK	景観・空間設計	小柳武和 教授
卒業研究 発表賞	最優秀賞	山崎 友	構造・地震工学	井上涼介 准教授
	優 秀 賞	大澤 里津	水圏環境	信岡尚道 講師
		新宮 明彦	計画・交通	金 利昭 准教授
		渡邊 眞悟	防災・環境地盤工学	村上 哲 講師



## 更尽会2007年度（2007.4.1～2008.3.31）決算

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	2007年度予算	2007年度決算	備 考
年会費	500,000	710,000	2,000円×355件（2007.4.1～2008.3.31）
寄付	0	82,000	松本智良様(S59022)
雑収入	649	374	利息
前年度繰越金	955,351	955,351	
計	1,456,000	1,747,725	

## 【支出の部】

(単位:円)

科 目	2007年度予算	2007年度決算	備 考
通信費	250,000	160,835	総会開催通知、年会費納入通知等
備品・消耗品費	30,000	17,457	事務用品等
会議費	10,000	1,326	幹事会会議用お茶代等
印刷費	100,000	60,900	更尽会専用封筒の印刷
交通費	50,000	112,080	幹事、会計監査、特別講師交通費等
総会運営費	50,000	39,000	総会企画（在学生との懇談会）経費
報奨費	50,000	49,495	在学生学術活動の報奨
雑費	50,000	51,810	年会費振込手数料、発送作業アルバイト代
予備費	866,000	94,000	会費超過支払者への返金
次年度繰越金	0	1,160,822	
計	1,456,000	1,747,725	

監査の結果、上記収支決算が適正であることを証明します。

平成 年 月 日

2007年度会計監査役

印

印



## 更尽会第4期（2007～2008年度）役員

## 会 長

卒業年度	氏 名
昭和59年度	松 本 智 良

## 副会長

卒業年度	氏 名
昭和59年度	大 谷 俊 夫
昭和60年度	根 田 信 義

## 幹 事

卒業年度	氏 名	
昭和59年度	松 本 智 良	大 谷 俊 夫
昭和60年度	根 田 信 義	蛭 町 修 身
昭和61年度	野 中 伸 一	須 原 茂
昭和62年度	堀 辺 忍	真 中 剛
昭和63年度	古 川 英 希	山 田 道 雄
平成元年度	原 田 隆 郎	濱 崎 健
平成2年度	宮 本 仁	平 野 有 志
平成3年度	高 橋 学	人 見 満 博
平成4年度	小 林 卓 也	橋 本 則 保
平成5年度	大久保 啓 一	松 本 隆 弘
平成6年度	金 原 和 彦	三 瓶 大 介
平成7年度	岡 崎 伸 二	庄 司 祐 一 郎
平成8年度	西 坂 淳	越 川 満
平成9年度	石 川 慎 吾	菊 池 稔 明
平成10年度	飯久保 励	鈴 木 宏 幸
平成11年度	岩 下 健 太 郎	小 針 修 一
平成12年度	石 内 鉄 平	坂 本 宏 司
平成13年度	木 梨 真 知 子	古 谷 田 彰
平成14年度	大 信 克 男	鈴 木 久 美 子
平成15年度	伊 藤 徹	宮 内 大 輔
平成16年度	鈴 木 希 美	米 川 義 幸
平成17年度	大 森 慎 哉	小 林 正 明
平成18年度	柴 田 はるか	信 山 和 大
平成19年度	猪 狩 淳 ※	杉 浦 航 ※

※印：新幹事（案）

## 更尽会 2008 年度活動計画（案）

### 1. 第7回総会について

第7回総会を以下のとおり開催し、2007年度活動報告および決算、2008年度活動計画および予算などについて決議する。また、在学生への更尽会の周知および在学生との交流を図るため、会員と在学生の懇親会を企画する。

(1) 開催日時：平成20年7月12日（土）13:30～14:00

(2) 開催場所：茨城大学工学部（都市システム工学科）

(3) 開催内容：

a) 総会 議事内容：①2007年度活動報告および決算について、②第4期新幹事について、③2008年度活動計画および予算について、④2008年度会計監査役について  
他

b) 懇親会（会員相互および在学生との交流）14:00～

### 2. 幹事会について

2008年度幹事会を以下のとおり開催する。なお、必要な場合には、臨時の幹事会を開催する。

【第16回（2008年度）幹事会 <開催済み>】

開催日時：平成20年6月1日（日）14:00～16:00

議事内容：第7回総会の議事内容、2008年度会費納付案内等について 他

### 3. ニュースレター2008の発行について

ニュースレター2008を平成20年9月頃を目標に発行する。ニュースレター2008の内容は、第7回総会の議決事項と各種案内とする。

### 4. 更尽会年会費について

2008年度の会費納付案内を平成20年9月頃に実施する。なお、平成20年3月31日現在における郵便振替口座・自動払込希望者に対しては、平成20年4月21日に自動払込を実施する（既に実施済み）。また、会費納付に関する働きかけを継続して実施する。

### 5. 学科支援活動について

在学生への就職支援活動および学術活動への報奨制度を継続し、学科とのつながりを一層深め、在学生に対して更尽会の存在を更にアピールする。具体的には、特別講師の派遣による講義支援を継続するとともに、更尽会賞（修士論文発表賞および卒業研究発表賞）による在学生の学術活動に対する表彰を実施する。

### 6. 会員情報の再調査の継続について

昨年度から実施した会員情報の再調査を継続する。調査方法や調査すべき情報の内容についても再検討し、多数の連絡先不明の会員情報を収集できるように努める。

## 更尽会2008年度（2008.4.1～2009.3.31）予算（案）

## 【収入の部】

(単位:円)

科 目	2007年度決算	2008年度予算	備 考
年会費納入	710,000	700,000	2008.4.1～2009.3.31の年会費納入
寄付	82,000	0	
雑収入	374	178	利息など
前年度繰越金	955,351	1,160,822	
計	1,747,725	1,861,000	

## 【支出の部】

(単位:円)

科 目	2007年度決算	2008年度予算	備 考
通信費	160,835	200,000	総会開催通知、年会費納入通知等
備品・消耗品費	17,457	30,000	事務用品等
会議費	1,326	10,000	会議室使用料、会議用お茶代等
印刷費	60,900	100,000	封筒・ハガキ等の印刷
交通費	112,080	100,000	幹事、会計監査、特別講師交通費等
総会運営費	39,000	60,000	会場設営、総会企画（在学生との懇談会）運営等
報奨費	49,495	50,000	在学生学術活動の報奨
雑費	51,810	50,000	年会費振込手数料、発送作業アルバイト代
予備費	94,000	1,261,000	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	1,160,822	0	
計	1,747,725	1,861,000	

更尽会 2008 年度 会計監査役 (案)

卒業年度	氏 名
平成 9 年度	鈴 木 司
平成 12 年度	菅 野 康 範

第7回総会:参考資料

更尽会会員構成(2008年4月1日現在)

(人)

会員種別	区分			定員	故人	現員	
客員会員	現教職員			21		21	35
	旧教職員			15	1	14	
正会員	建設工学科	1	S59年度卒	32		32	1,351
	建設工学科	2	S60年度卒	29		29	
	建設工学科	3	S61年度卒	36		36	
	建設工学科	4	S62年度卒	43		43	
	建設工学科	5	S63年度卒	38		38	
	建設工学科	6	H01年度卒	41	1	40	
	建設工学科	7	H02年度卒	43		43	
	建設工学科	8	H03年度卒	45		45	
	建設工学科	9	H04年度卒	39		39	
	建設工学科	10	H05年度卒	42		42	
	都市システム工学科	1	H06年度卒	63		63	
	都市システム工学科	2	H07年度卒	71		71	
	都市システム工学科	3	H08年度卒	73		73	
	都市システム工学科	4	H09年度卒	71		71	
	都市システム工学科	5	H10年度卒	70	2	68	
	都市システム工学科	6	H11年度卒	72		72	
	都市システム工学科	7	H12年度卒	69		69	
	都市システム工学科	8	H13年度卒	57		57	
	都市システム工学科	9	H14年度卒	68		68	
	都市システム工学科	10	H15年度卒	66		66	
	都市システム工学科	11	H16年度卒	62	1	61	
	都市システム工学科	12	H17年度卒	73		73	
	都市システム工学科	13	H18年度卒	65		65	
	都市システム工学科	14	H19年度卒	66		66	
	大学院都市システム工学専攻修了生			21		21	
準会員	大学院博士後期課程、その他			20		20	20
合計				1,411	5	1,406	1,406

# 更 尽 会 会 則

平成 13 年 5 月 制定  
平成 19 年 6 月 改正

## 第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本会は、「更尽会」と称し、会員相互の親睦を図るとともに、会員の技術、識見、品格の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第 2 条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(会 員)

第 3 条 本会の正会員は、次のとおりとする。

- (1) 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の卒業生
  - (2) 茨城大学大学院工学研究科建設工学専攻及び都市システム工学専攻の修了生
  - (3) 茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻の修了生
2. 茨城大学大学院工学研究科及び理工学研究科博士後期課程の修了生で、主指導教官が都市システム工学科の教官であった者、及び本会の目的・事業等に賛同できる者は、本会の準会員とする。
3. 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の教職員及びその職にあった者は、本会の客員会員とする。

## 第 2 章 役 員

(役 員)

第 4 条 本会の役員として、会長 1 名、副会長 2 名、幹事各学年 2 名を置く。

2. 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げないものとする。

(幹 事)

第 5 条 幹事は、各学年の会員より推薦し、総会において承認する。

2. 幹事は、幹事会の構成員となる。
3. 幹事は、本会の運営に必要な事務を行う。

(会長及び副会長)

第 6 条 会長及び副会長は、幹事の互選により選任する。

2. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けた時は、会長が予め指定する副会長がその職務を代理する。

## 第 3 章 会 議

(総 会)

第 7 条 会員総会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に総会を召集することができる。

(幹事会)

第 8 条 幹事会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に幹事会を召集することができる。
3. 幹事会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 本会の予算及び決算
- (2) 事業計画
- (3) その他本会の運営に関する重要事項

## 第 4 章 会 計

(収入源)

第 9 条 本会は、正会員及び準会員より徴収する会費、寄付金及びその他の諸収入により運営する。

(会 費)

第 10 条 本会の正会員及び準会員は、年会費として 2,000 円を納付するものとする。

2. 年会費の納付は入会后 10 年間分とし、毎年納付または一括納付のいずれかによるものとする。

(会計年度)

第 11 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(会計報告)

第 12 条 収支決算は、毎年 1 回これを各会員に報告する。

(会計監査)

第 13 条 会計監査役は、会長が会員のうちから 2 名を推薦し、総会において承認する。

2. 監査役は、本会の会計事務の監査を行うものとする。

## 第 5 章 雑 則

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は、総会の議決による。

(委 任)

第 15 条 この会則に定めることのほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会が定める。

附 則

この会則は、平成 13 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この会則は、平成 19 年 6 月 16 日から施行する。